

がん診療に携わる医師に対する  
緩和ケア研修会

# 背景

- **2007年、がん対策推進基本計画で、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられた**
- **2008年、医師に対する緩和ケアの基本的な知識等を習得するための研修会に関する健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」が出された**

# 緩和ケア研修会の目的

## ■ 基本的な緩和ケアの修得

痛みをはじめとした、がんによる苦痛に対する緩和ケアの知識、技能、態度を修得し、実践できる

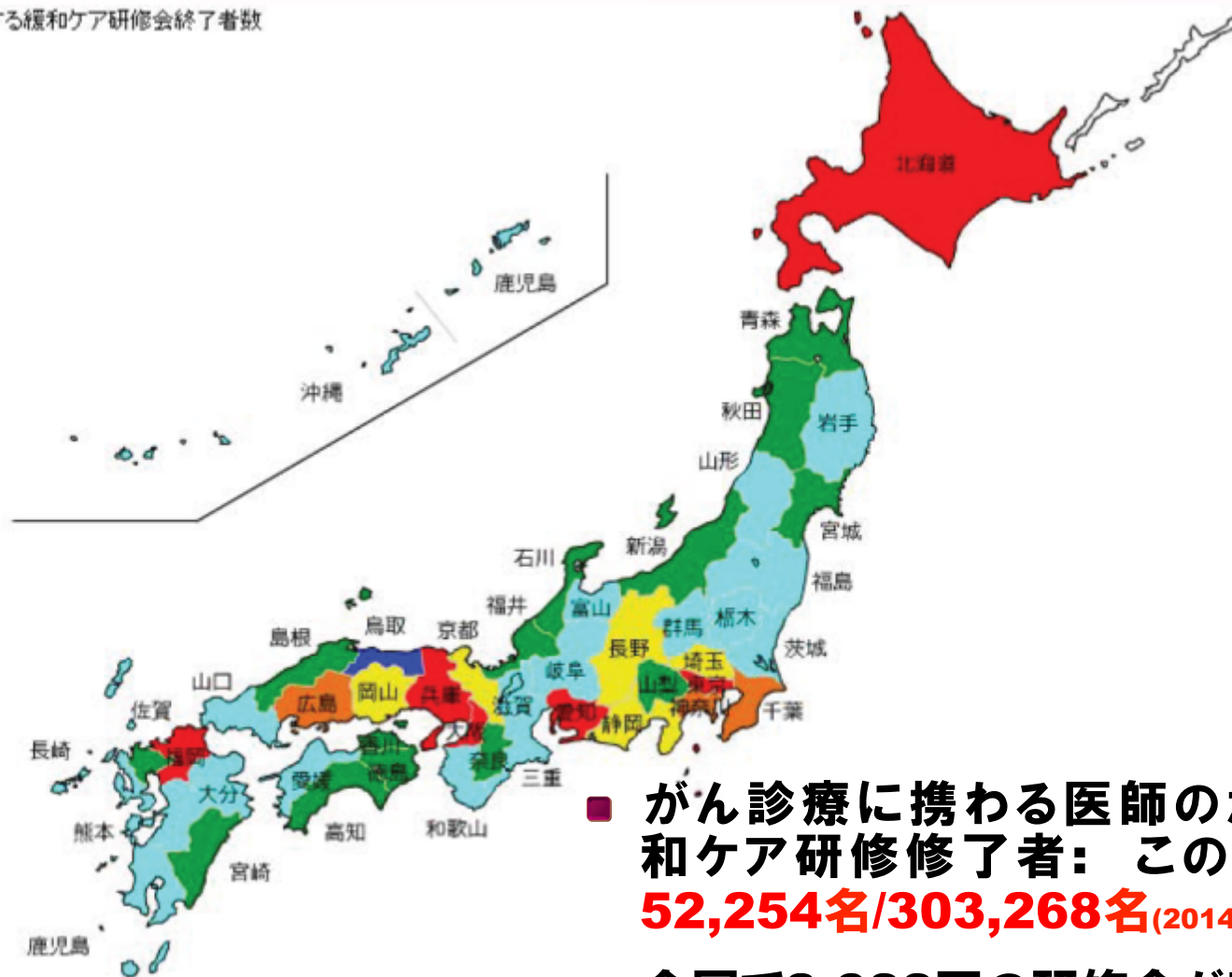
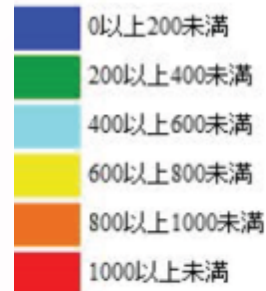
# 緩和ケア研修会のプログラム

- 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に沿ってプログラムを作成する
- 研修会の内容は「緩和ケア研修会標準プログラム」に準拠している必要がある

# 研修会修了者の分布

がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会終了者数

quote



- がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修修了者：この6年間で**52,254名/303,268名**(2014年9月)
- 全国で**3,088回**の研修会が実施

# 開催指針の変更が予定されています

- **第15回緩和ケア推進検討会資料8-1, 8-2を参照のこと**
  - **<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000063257.html>**
- **基本的に形式は現在までと不変**
- **研修内容が変更される**

# 変更の要点 1

項目	旧指針	旧単位	新指針	新単位
苦痛のスクリーニング	その他 ア 全人的な緩和ケアについての要点	—	①苦痛のスクリーニングとその結果に応じた症状緩和について	0.5
がん疼痛	①がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん性疼痛治療法の概略について（プレテスト及び解説を含む）	0.5	②がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法について（放射線治療や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点及び多様化する医療用麻薬の使用上の注意点などにも配慮した内容であること）	1
がん疼痛	②がん性疼痛の治療法の実際について（プレテスト及び解説を含む） その他 イ 放射線治療や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点	0.5		

# 変更の要点 2

項目	旧指針	旧単位	新指針	新単位
がん疼痛 ワーク ショップ	③がん性疼痛についてのワークショップ（ただし2単位を同日に実施すること） ア グループ演習による症例検討①がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療 イ グループ演習による症例検討②がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載 ウ ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習（「医療用麻薬の誤解を解く」、「医療用麻薬の副作用と対策の説明を行う」等）	2	③がん疼痛についてのワークショップ（ただし、2単位を同日に実施すること） （ア） グループ演習による症例検討：がん疼痛に対する治療と具体的な処方 （イ） ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習（「医療用麻薬の誤解を解く」、「医療用麻薬の副作用と対策の説明を行う」等）	2
身体症状	④呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケアについて（プレテスト及び解説を含む）	0.5× 2	④呼吸困難、消化器症状等の疼痛以外の身体症状に対する緩和ケアについて（治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含む）	0.5 ×2
精神症状	⑤不安・抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて（プレテスト及び解説を含む）	0.5× 2	⑤不安・抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて	0.5 ×2



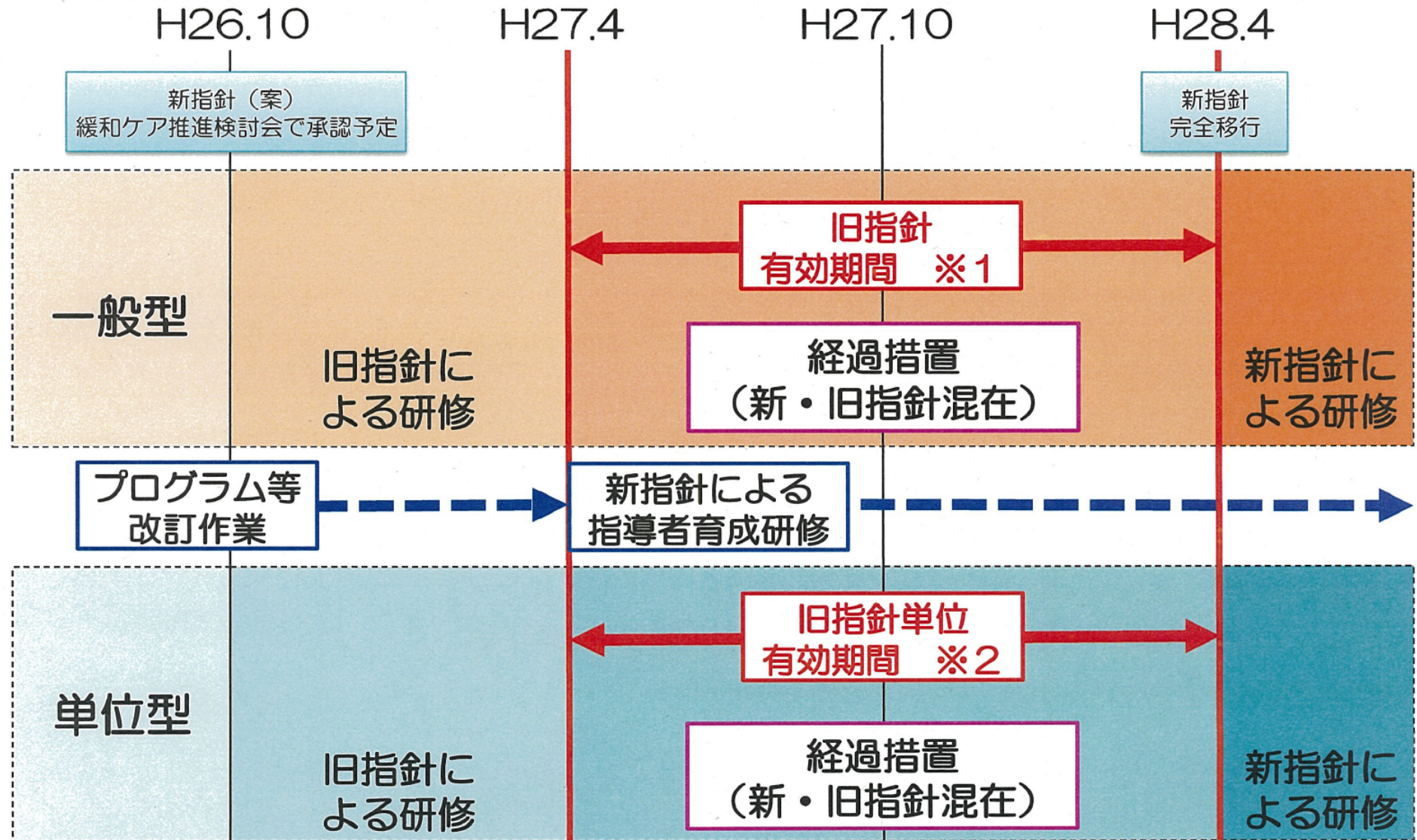
# 変更の要点 3

項目	旧指針	旧単位	新指針	新単位
患者視点	—	—	⑥患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケアについて（がんと診断されたときから行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含むこと）	0.5
コミュニケーション	⑥がん医療におけるコミュニケーション技術についての講義（プレテスト及び解説を含む）及びワークショップ（ただし、2単位を同日に実施すること） グループ討論による患者への悪い知らせの伝え方についての検討 ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習	2	⑦がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについて（がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含むこと）	0.5
			⑧がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについてのワークショップ（ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習）（がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含むこと）	1
地域連携	その他 ウ がん患者の療養場所の選択及び地域連携についての要点 エ 在宅における緩和ケア	—	⑨がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケアについて	0.5

# 変更の要点 4

項目	旧指針	旧単位	新指針	新単位
その他	⑦その他 地域の状況を踏まえつつ、次に掲げる項目についても内容に含むこと。ただし、上記①～⑥で定めた研修の中に含まれてもよいものとする	—	⑩その他 次に掲げる項目から地域の状況を踏まえつつ、学習項目を選択し、研修内容に取り入れること ア 身体的苦痛の緩和（倦怠感、食欲不振等） イ 精神心理的苦痛の緩和（不眠等） ウ 社会的苦痛の緩和（就業や経済負担等） エ 家族のケア オ がん体験者やケア提供者等からの講演	—
プレテスト	各項目において（プレテスト及び解説を含む）と記載あり	—	5緩和ケア研修会の開催指針（2）②緩和ケア研修会の形式、において、また、プレ・ポストテストなどの参加者の知識を確認する内容を組み込み、プログラム評価の参考にすることと記載あり	—
アイスブレイキング	③および⑥においてまた、参加者の緊張を解くことに配慮したプログラムとして「アイスブレイキング」を効果的に行うことと記載あり	—	—	—

# 緩和ケア研修会開催指針の経過措置(案)



※1 経過措置期間においても一般型研修会での同一研修会では、新・旧一方のみの開催指針に準拠した内容とする。

※2 経過措置期間においては、旧指針と新指針による単位の読み替え表(別紙)を用いて研修修了を判断する。

# PEACE

---

**P**alliative care **E**mphasis program on symptom management  
and **A**ssessment for **C**ontinuous medical **E**ducation

# 新開催指針周知のための指導者研修会

- 新開催指針に対応、資料を一新します
- 事前申込制です
- 参加義務はなく、資料はWebで配信されます
  
- 大阪会場（ナレッジキャピタルコングレクションセンター）
  - 平成27年2月28日（土）10:00 – 16:00
- 東京会場（東京ビッグサイト）
  - 平成27年3月1日（日）9:30 – 15:30